

茨城県第 4 採択地区教科用図書選定協議会

会長 鈴木 由美

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
数学	4 大日本 新版 数学の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章の扉には学習の導入として写真や問いかけが掲載され学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 教科書見開きが 2 ページで 1 時間になるように作成され、それぞれの時間の学習内容の把握が容易となるよう工夫されている。各節の始めでは、既習内容の復習も兼ね、学習を始める手がかりとなる問題が示され、基礎的な概念や原理・法則についての理解を深めることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 実験・実測を基に推測する活動を多く設定したり、表や文章中に空欄（穴埋め）を設けたりすることで、事象を数理的に考察し表現する能力を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるよう、3 つの視点「見いだそう」・「利用しよう」・「伝えよう」が示されたり、答えが 1 つとは限らない問題やいろいろな考え方ができる問題「考えてみよう」が示されたりしている。</li> <li>○ 解法を複数示すことで、生徒がそれぞれの解法の長所や短所を比較したり、考え方を説明したりできるよう、工夫している。</li> <li>○ 個に応じたきめ細かな指導を充実するために、関連する既習事項を例題の脇に示したり、キャラクターを用いてヒントやアドバイスを示したりして、生徒が自分で考えたり、見通しをもったりできるよう工夫している。また、補充問題(プラス・ワン)を適宜設ける、節毎の練習問題では既習事項を振り返るページを 2 種類（A, B）設ける、そして章末問題、いろいろな問題へ発展できるなど習熟度に応じた工夫が見られる。</li> <li>○ 関数の領域では、表とグラフが隣同士となり関連づけがし易い、表やグラフも教科書に十分書き込める、スペースに余裕があるなど、レイアウトの配慮が図られている。文字サイズや書体、枠取りなど、ユニバーサルデザインがなされている。</li> </ul>